

講座「意外と知らない塩と暮らしのお話」を開催しました。

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、2018年8月6日（月）、富山県滑川市（なめりかわし）の「滑川市福祉センター」にて、講座「意外と知らない塩と暮らしのお話」を開催しました。

この講座は、当地で事業を行っている北陸塩業株式会社（全国塩元売協会会員）の紹介で実施したもので、当日は、滑川市ボランティア連絡協議会のメンバー約50名を対象に、意外と知られていない塩と暮らしの関わりについて、クイズや実験も交えてお伝えしました。

まずは、日本と世界の塩事情について、クイズを交えてご説明しました。岩塩のでき方や天日塩のつくり方、日本の塩づくりの歴史など、限られた時間の中では駆け足の説明になりましたが、普段あまり目にするものないであろう岩塩や天日塩の結晶サンプルもお返しし、興味深くご覧いただきました。

また、2種類の塩をなめ比べて味の感じ方を試すなめ比べ実験、種類の違う塩を同じスプーンで計ると同じ量でも重さが違うはかり比べ実験などは大好評でした。

続いて、①生命維持、②味付け、③食品の保存や加工、④食べる以外の用途（塩の形のまま）、⑤ソーダ工業用（塩から形を変えて）、多岐に渡る塩と暮らしの関わりについて、順にお伝えしました。

参加いただいた皆様には、普段よく使う塩についても実は知らないことが多かった、大変勉強になったとご好評をいただきました。

